

「農業の6次産業化の推進について(つくい農産加工の会)」

北相地区事務所

つくい農産加工の会（相模原市緑区）は平成19～21年度に当所主催による加工セミナーを契機に農産加工施設保有等有志13名（平成23年6月16名）により結成したグループです。発足間もない組織ですが、会員相互による加工品の品質向上、販路拡大による経営の安定を目指しています。今後は、共同加工所の整備や津久井在来大豆を利用した加工品の開発を検討していきます。

また、平成23年1月18日には農業の6次産業化の推進をテーマに、農業者のつどいを開催し、農業者を中心に109名が参加しました。6次産業の提唱者でおられる今村奈良臣東京大学名誉教授の講演と、会員が製造した漬物、ジャム等加工品の展示等が好評でした。

6次産業とは、1次産業（農業）×2次産業（加工）×3次産業（販売）＝6次産業です。6次産業の趣旨を实践し、農産物の生産だけでなく、その加工により付加価値を付けて販売を行い、農業と地域の活性化を図ることも視野に入れた会として支援していきます。



写真1 今村先生の講演

第62回全日本野菜品種審査会 「コカブ(春まき初夏どり)」が開催されました

野菜作物研究部

平成23年6月14日に、当所で（社）日本種苗協会主催によるコカブ（春まき初夏どり）の品種審査会が開催されました。品種審査会は、種苗会社が育成した品種（もしくは品種になる前の系統）を全国各地の公立試験研究機関が栽培し、栽培のしやすさや収穫物の品質面からどの品種・系統が優れているかを競う会です。今回は10点が出品されました。

4月25日に種子を播き、保温、防風及び害虫防除を目的として、0.6mm目合いのネットでトンネル被覆し、栽培を行いました。種子を播いてから6月14日の審査会当日まで、すべての品種・系統が順調に生育しました。

審査の結果、入賞した品種・系統はいずれも、生育の揃いがよく、葉が短めで、根部が偏円形でした。



入賞品種・系統一覧

順位	品種・系統名	種苗会社
1等特別賞	No.6244	タキイ種苗(株)
2等	碧寿	(株)武蔵野種苗園
3等	T-7	(株)日本農林社